

スーパーマーケット景気動向調査

2017年5月調査結果（4月実績）
（2017年5月23日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

5月調査（4月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断、見通し判断共に小幅に改善も

4月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+1.0の45.7、見通し判断は前月から-0.3の42.9となり、どちらも前月の水準から大きな変化はなかった。

経営動向調査では、売上高DIが-5.1、収益DIは-6.7と共にマイナスながら前月に比べ上昇をみせた。日曜日が一日多い曜日まわりの影響で、来客数DIが-9.9（前月比+3.9）、客単価DIが1.9（前月比+1.2）と前月に比べ小幅に上昇したことがその要因としてあげられる。

カテゴリー動向調査は、前月と同様の傾向が続いており、青果相場の落ち着きがみられはじめるなど、一般的に単価が下落傾向にあるなか、数量増が好不調の鍵を握っている。一方で、日曜日が一日多い恩恵があり、前月に比べてDIはやや上昇しているものの、前年より低い気温の影響も受け、惣菜DI以外はすべてマイナスとなった。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、現状判断、見通し判断共に大きな動きは見られず、前月の水準でほぼ横ばいとなった。短期移動平均線は上向きを示しているが、長期傾向では下降トレンドが継続しており、トレンド転換の兆しは確認できない。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

景況感は、前月同様、方向感がない動きとなっているなか。販売価格、客単価のプラス幅はわずかであり、来客数減をカバーすることが厳しい状況が継続している。気温をはじめとする気象条件が不安定な環境が続くなか、消費者ニーズへの対応力が問われる環境となっている。

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：45.7 (+1.0)
前月：44.7

消費者購買意欲DI
当月：45.4 (+0.4)
前月：45.0

周辺地域 競合状況DI
当月：42.2 (-0.9)
前月：43.1

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：46.6 (+0.2)
前月：46.4

見通し判断

景気判断DI
当月：42.9 (-0.3)
前月：43.2

消費者購買意欲DI
当月：44.1 (-0.1)
前月：44.2

周辺地域 競合状況DI
当月：40.2 (-1.2)
前月：41.4

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：46.0 (+0.5)
前月：45.5

経営動向調査 経営状況

売上高DI
当月：-5.1 (+6.3)
前月：-11.4

客単価DI
当月：1.9 (+1.2)
前月：0.7

来客数DI
当月：-9.9 (+3.9)
前月：-13.8

収益DI
当月：-6.7 (+4.4)
前月：-11.1

販売価格DI
当月：0.9 (+1.4)
前月：-0.5

生鮮品仕入原価DI
当月：3.9 (-0.9)
前月：4.8

食品仕入原価DI
当月：3.4 (+1.4)
前月：2.0

カテゴリー動向

青果DI
当月：-1.2 (-0.4)
前月：0.8

水産DI
当月：-7.1 (+10.8)
前月：-17.9

畜産DI
当月：-1.2 (+7.6)
前月：-8.8

惣菜DI
当月：3.7 (+2.3)
前月：1.4

日配DI
当月：-2.3 (+6.5)
前月：-8.8

一般食品DI
当月：-4.0 (+4.0)
前月：-8.0

非食品DI
当月：-7.9 (+6.3)
前月：-14.2

○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

5月調査（4月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

うるう年の影響から反発し、2ヵ月連続でマイナス幅を縮小

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	8.9	44.6	29.7	16.8	0.0	-11.4
売上高 (当月)	4.7	36.8	34.5	22.2	1.8	-5.1



2. 収益DI

うるう年の影響から反発し、2ヵ月連続でマイナス幅を縮小

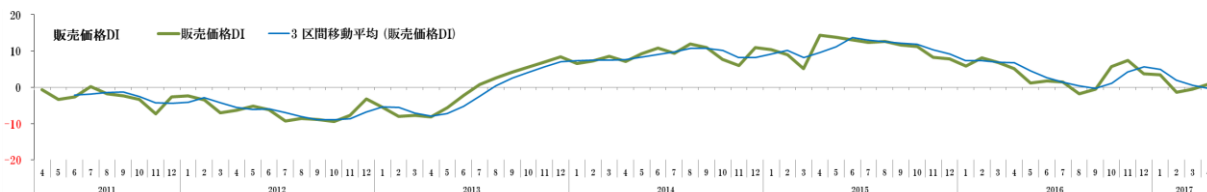
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	10.1	39.7	35.2	14.6	0.5	-11.1
収益 (当月)	7.3	35.8	35.8	18.8	2.4	-6.7



3. 販売価格DI

2ヵ月連続のマイナスを記録後、やや持ち直し

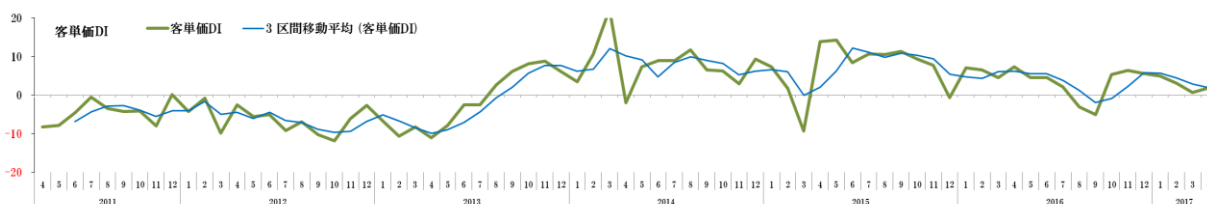
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.5	20.4	59.7	19.4	0.0	-0.5
販売価格 (当月)	1.2	12.4	68.2	18.2	0.0	0.9



4. 客単価DI

わずかにプラス圏を維持するも、頭の重い状況が続く

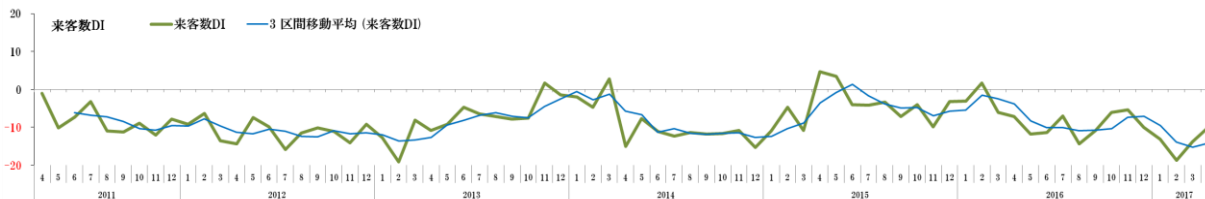
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	24.6	47.8	27.6	0.0	0.7
客単価 (当月)	0.6	20.1	50.3	29.0	0.0	1.9



5. 来客数 DI

やや上昇をみせるマイナス圏での推移が続く

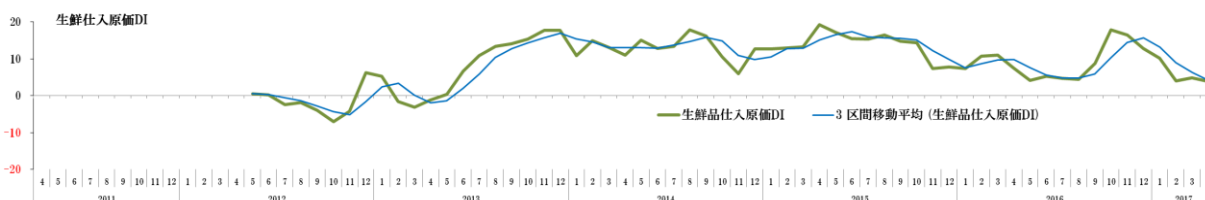
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	10.0	46.8	31.8	11.4	0.0	-13.8
来客数 (当月)	7.1	39.1	41.4	11.2	1.2	-9.9



6. 生鮮仕入原価 DI

横ばい推移が続き、プラス幅は縮小

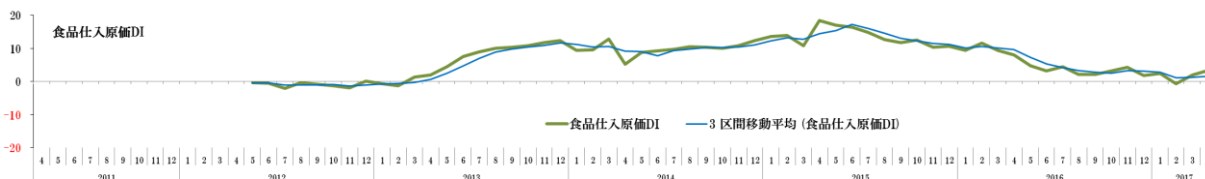
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	2.5	10.1	54.0	32.3	1.0	4.8
生鮮仕入原価 (当月)	1.8	8.4	63.3	25.3	1.2	3.9



7. 食品仕入原価 DI

2013年2月以来のマイナスを記録後、やや上昇

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	2.0	8.5	69.3	19.6	0.5	2.0
食品仕入原価 (当月)	1.2	7.1	69.2	21.9	0.6	3.4

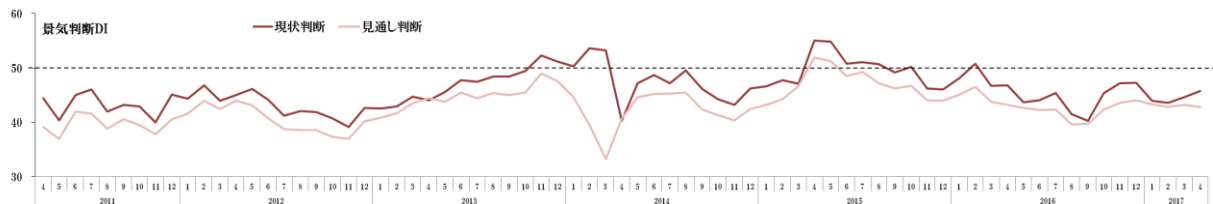


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断はほぼ横ばいで、方向感のない推移

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	0.5	27.2	65.8	5.9	0.5	44.7
【現状】景気判断 (当月)	0.6	22.9	69.4	7.1	0.0	45.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	2.5	28.1	63.5	5.9	0.0	43.2
【見通し】景気判断 (当月)	1.8	28.6	66.1	3.6	0.0	42.9



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に前月と変わらず

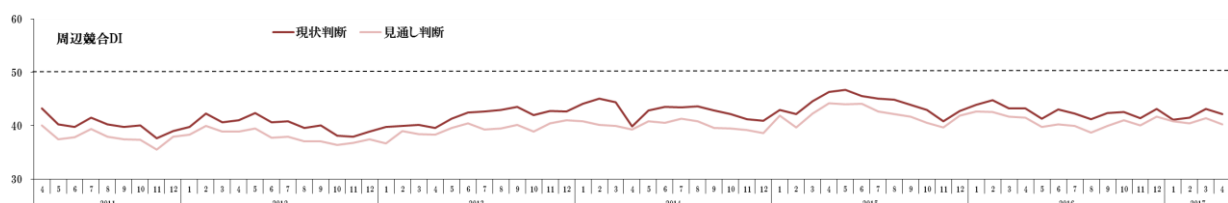
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.5	23.5	71.6	4.4	0.0	45.0
【現状】購買意欲 (当月)	0.6	22.9	70.6	5.9	0.0	45.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.0	24.6	70.9	3.4	0.0	44.2
【見通し】購買意欲 (当月)	1.2	24.3	71.6	3.0	0.0	44.1



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に弱含みで変化の基調ない

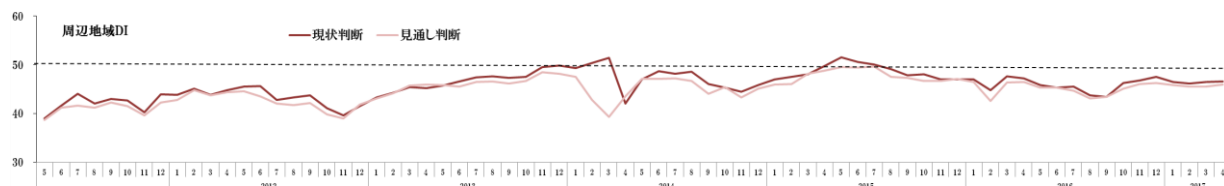
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.0	27.5	66.7	3.9	0.0	43.1
【現状】競合状況 (当月)	3.5	28.2	64.7	2.9	0.6	42.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.4	29.1	63.1	3.4	0.0	41.4
【見通し】競合状況 (当月)	5.3	30.2	62.7	1.8	0.0	40.2



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

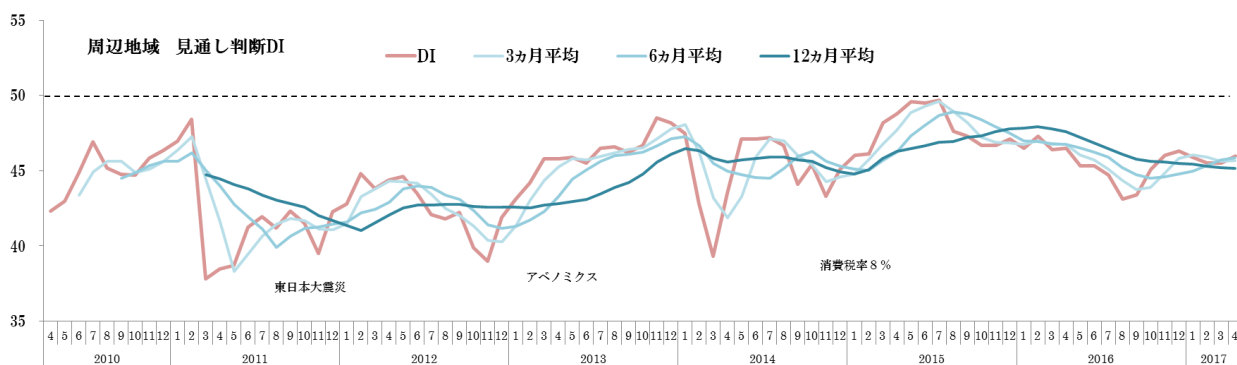
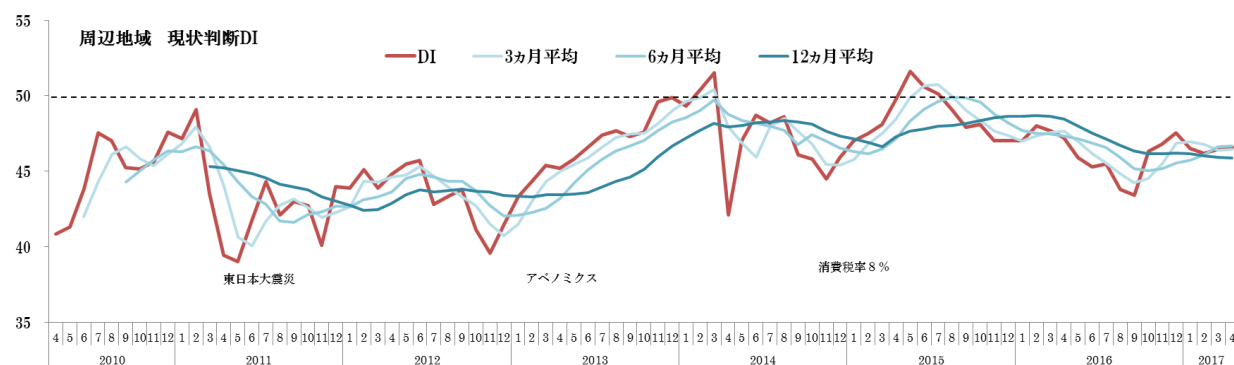
現状判断、見通し判断共に小幅な改善

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	0.5	16.7	79.9	2.5	0.5	46.4
【現状】地域景気 (当月)	0.0	15.4	82.8	1.8	0.0	46.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	1.0	17.9	79.6	1.0	0.5	45.5
【見通し】地域景気 (当月)	0.6	16.1	82.1	1.2	0.0	46.0



長期傾向 (2010年4月～)

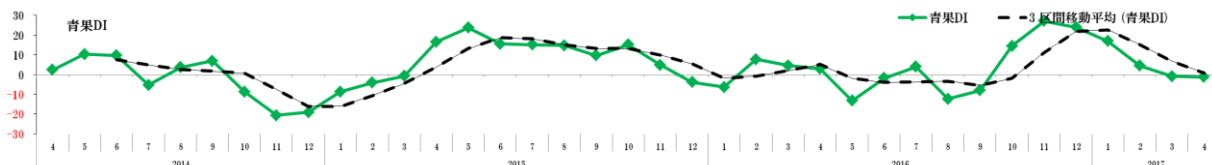
2012年11月以降改善傾向を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した。5月に一旦持ち直したものの、6月～8月まで横ばい推移、9月に再び悪化した。その後、年末から6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで改善をみせた。これをピークに6月以降悪化傾向が続き11月は下落の速度が早まった。12月～2月は横ばいで推移したものの、2016年3月以降悪化をみせ、8月には大きく下落した。直近9月に下げ止まりをみせ、10月は一転して大きく改善し、12月まで小幅な改善が続いた。2017年に入り、方向感なく横ばい推移が続いている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：-1.2（やや不調）

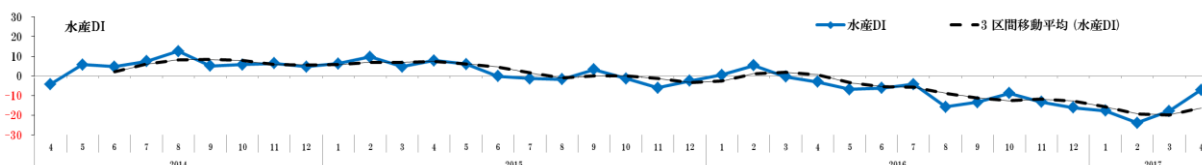
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果 (前月)	4.7	31.8	29.7	29.7	4.2	-0.8
青果 (当月)	3.7	32.9	30.4	30.4	2.5	-1.2



全般的に野菜類は、出荷量が増加し相場が低下傾向にあり、販売数量が増加したものの、一品単価が下落したため、売上は前年並みとなった店舗が多かった。気温の変化により、サラダ関連のレタス・トマト・キュウリ、ピーマンの動きが数量的にはよいが、単価下落の影響で振るわなかった。土物、豆類は好調となっているが、タケノコは、不作で相場が高く不振であった。果物も野菜類と同様の傾向で、リンゴやいちごは相場が安く、数量的には好調だが、売上は前年に届かない店舗が多くみられた。輸入果実は不調とするコメントが多くみられた。

2. 水産DI：-7.1（やや不調）

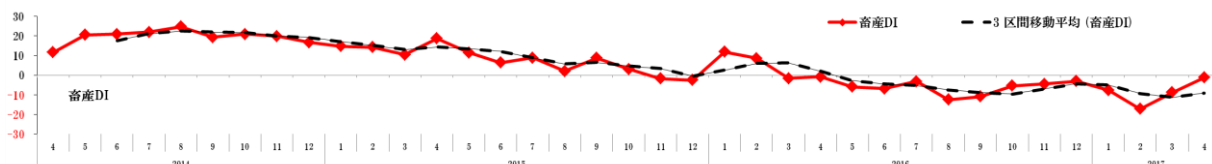
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産 (前月)	16.3	49.5	23.5	10.7	0.0	-17.9
水産 (当月)	4.9	42.6	31.5	17.9	3.1	-7.1



引き続き生魚の入荷が少なく相場も高値で推移しており、厳しい状況に変化はないが、日曜日の多い曜日めぐりで、まぐろやかつおなどの刺身類が好調となった。春魚であるサワラは、入荷が不安定で高く不調、カツオのたたき、魚惣菜など即食性の高い商品は比較的好調とするコメントがみられた。

3. 畜産DI：-1.2（やや不調）

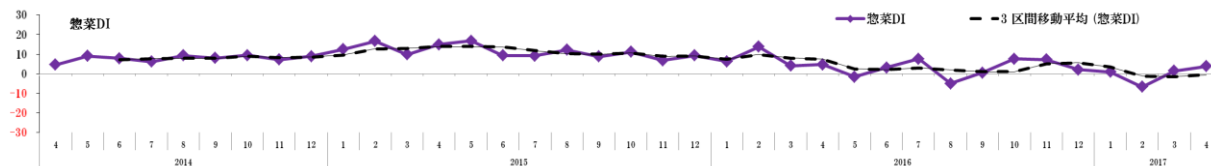
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産 (前月)	9.7	39.3	29.1	20.4	1.5	-8.8
畜産 (当月)	3.1	32.3	33.5	28.6	2.5	-1.2



和牛は相場高が続いているなか、切り落としを中心とした輸入牛の売り込みを強化する動きが強まっている。牛肉は焼肉商材などが比較的好調、豚肉は気温上昇により豚しゃぶなどが好調で数量が増加傾向にある。一方で単価は下落傾向にあり、販売数量増加の有無により好不調が分かれている。ブラジル産の報道により、鶏肉は不振となった店舗が多い。加工肉については価格競争の厳しさを指摘するコメントも散見された。

4. 惣菜DI：3.7（やや好調）

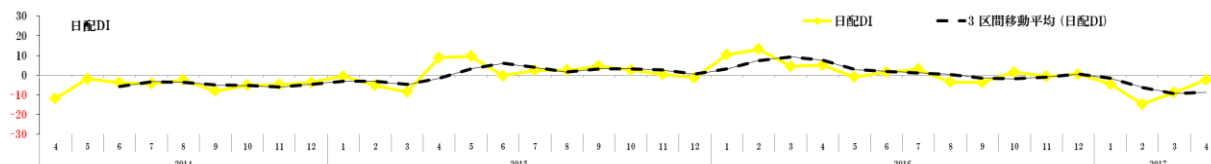
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	5.7	21.2	39.9	28.0	5.2	1.4
惣菜（当月）	4.3	16.8	42.2	32.9	3.7	3.7



桜の開花が遅れ、お花見需要が4月にずれ込んだため、好天だった地域では行楽用商材が好調となったが、反対に低温や悪天候により伸び悩んだ店舗もみられた。日曜日が一日多いことを追い風にオードブルを中心とした週末商材が好調となった。出来立てや揚げたての提供など取組みを強化しており、成果をあげている店舗がある一方で、人手不足で十分に対応できない店舗もみられた。

5. 日配DI：-2.3（やや不調）

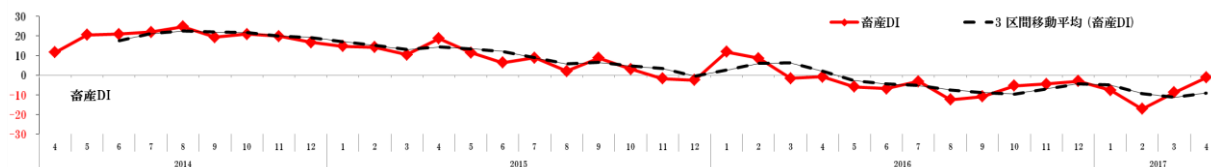
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	7.7	38.8	35.7	16.8	1.0	-8.8
日配（当月）	3.8	28.1	43.8	22.5	1.9	-2.3



前年との比較では気温が低く、飲料や涼味系の麺類を中心に伸び悩んだ一方で、日曜日が一日多いことの恩恵があった。前年特需のあった機能性ヨーグルトなどが落ち込みをみせた。メディアで取り上げられた甘酒や豆乳などが引き続き好調となっている。他業態との価格競争の厳しさへの指摘が散見された。

6. 一般食品：-4.0（やや不調）

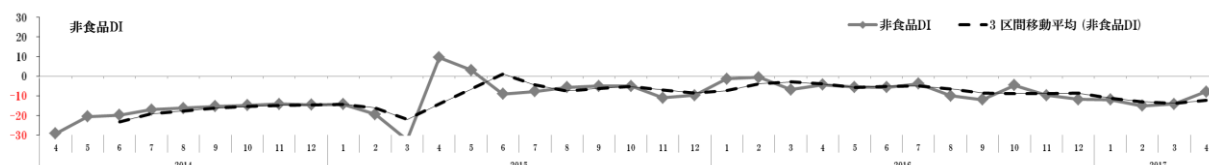
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	5.7	39.2	37.6	16.5	1.0	-8.0
一般食品（当月）	5.0	32.9	39.8	18.0	4.3	-4.0



前年との比較では気温が低い影響で、つゆなど涼味関連商材が伸び悩んだが、単価の上昇している米は引き続き好調となっている。じゃがいも不足の報道によりポテトチップスに特需が発生した店舗もみられ、菓子は好調となった。日曜日の一日多い恩恵があったほか、食酢が好調とのコメントが多くみられた。

7. 非食品DI：-7.9（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	12.3	43.9	33.7	8.6	1.6	-14.2
非食品（当月）	10.1	32.1	40.9	13.2	3.8	-7.9



気温の上昇で殺虫剤などが比較的好調なほか、紙類に値上げ前の駆け込み需要が発生した。タバコの売上が落ち込んでいるほか、ホームセンター、ドラッグストアなどとの価格競争が激しく低迷が続いている。前年より低い気温により春物衣料も不振となった。

カテゴリー別DIによる好不調判断

かなり好調：～20 好調：20～10 やや好調：10～0
 やや不調：0～-10 不調：-10～-20 かなり不調：-20～

2017年5月調査（4月実績）キーワードTOP3

1. 日曜日が一日多い
2. 気温上昇も前年より低下 花見時期の天候
3. 単価下落傾向

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

4月実績速報版 171社
 3月実績確報版 204社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp